

第6章 介護保険事業

第1節 介護サービスの現状と今後の見込

1 居宅サービス

居宅サービスの利用見込みは次のとおりです。利用見込みにあたっては、第8期計画における各サービスの利用実績の推移とともに、今後見込まれる利用者数の増加、サービス供給体制の動向等を勘案しました。

(1) 居宅介護支援・介護予防支援

要支援・要介護認定を受けた方が、自宅でのサービスを適切に利用できるよう、ケアプラン（サービス計画）を作成し、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整等を行います。

【現状の課題・施策の方向】

介護給付と予防給付の合計で見れば、概ね計画値どおり推移しています。今後も、介護給付、予防給付ともに、ニーズに応じてサービスを提供します。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	151	156	159	147	149	150
	実績値(人/月)	155	143	136	/		
	対計画比	102.6%	91.7%	85.5%			
予防 給付	計画値(人/月)	38	39	40	52	53	53
	実績値(人/月)	37	38	49	/		
	対計画比	97.4%	97.4%	122.5%			

(2) 訪問介護

訪問介護員が利用者の居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、洗濯、掃除等の家事を行うサービスです。利用者の身体に直接接触して行う身体サービスと身体介護以外の生活援助サービスがあります。生活援助サービスは、掃除、洗濯、調理等日常生活上の援助や、利用者が単身、またはその家族が、障がいや病気等のために家事を行うことが困難な場合に行われるサービスです。

【現状の課題・施策の方向】

利用人数が計画値の6～7割程度の実績となっています。今後もニーズに応じてサービスを提供します。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	47	48	49	33	34	34
	実績値(人/月)	35	35	31			
	対計画比	74.5%	72.9%	63.3%			
	計画値(回/月)	600	620	640	729	754	760
	実績値(回/月)	519	595	711			
	対計画比	86.5%	96.0%	111.1%			

(3) 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

自宅の浴槽での入浴が困難な方に対して、浴槽を積んだ入浴車が利用者の自宅を訪問し、看護職員や介護職員が入浴の介護を行うサービスです。

【現状の課題・施策の方向】

利用実績のないサービスとなっており、第9期計画中也サービス量を見込んでいません。今後も、ニーズに応じて、適切なサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	0	0	0	0	0	0
	実績値(人/月)	0	0	0	/		
	対計画比	-	-	-			
	計画値(回/月)	0	0	0			
	実績値(回/月)	0	0	0	/		
	対計画比	-	-	-			
予防 給付	計画値(人/月)	0	0	0	0	0	0
	実績値(人/月)	0	0	0	/		
	対計画比	-	-	-			

(4) 訪問看護・介護予防訪問看護

医師の指示に基づき、看護師等が利用者の居宅を訪問し、健康チェック、療養上の支援または必要な診療の補助を行うサービスです。

【現状の課題・施策の方向】

在宅介護を希望する方が増加しており、ニーズが増えるサービスです。第9期計画においても利用者の増加を見込みます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	6	6	6	8	8	8
	実績値(人/月)	5	3	7			
	対計画比	83.3%	50.0%	116.7%			
	計画値(回/月)	26	26	26	53	57	62
	実績値(回/月)	63	8	19	1		
	対計画比	242.3%	30.8%	73.1%			
予防 給付	計画値(人/月)	1	1	1	1	1	1
	実績値(人/月)	1	1	1			
	対計画比	100.0%	100.0%	100.0%			
	計画値(回/月)	4	4	4	3	3	4
	実績値(回/月)	3	3	1			
	対計画比	75.0%	75.0%	25.0%			

(5) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

医師の指示に基づき、理学療法士や作業療法士等が利用者の居宅を訪問し、利用者の心身機能の維持回復および日常生活の自立を助けるために理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うサービスです。

【現状の課題・施策の方向】

計画値を下回る実績となっています。第9期計画では、リハビリテーションサービスの提供体制を確保して、介護給付・予防給付ともに、サービス見込み量の確保を図ります。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	13	14	15	11	11	11
	実績値(人/月)	13	11	11			
	対計画比	100.0%	78.6%	73.3%			
	計画値(回/月)	117	131	140			
	実績値(回/月)	149	126	115			
	対計画比	127.4%	96.2%	82.1%			
予防 給付	計画値(人/月)	3	3	3	1	1	1
	実績値(人/月)	1	2	1			
	対計画比	33.3%	66.7%	33.3%			
	計画値(回/月)	26	26	27			
	実績値(回/月)	8	22	11			
	対計画比	30.8%	84.6%	40.7%			

(6) 通所介護

日中、デイサービスセンターに通って、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や機能訓練等を日帰りで行うサービスで、利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族負担の軽減を図ります。

【現状の課題・施策の方向】

計画値の7～8割の実績となっています。今後も、在宅介護を希望する方が増加すると見込み、介護給付、予防給付ともに必要なサービス量を確保します。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	132	134	136	110	110	112
	実績値(人/月)	113	106	109			
	対計画比	85.6%	79.1%	80.1%			
	計画値(回/月)	1,228	1,248	1,267	923	934	947
	実績値(回/月)	960	864	915			
	対計画比	78.2%	69.2%	72.2%			

(7) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

介護老人保健施設や病院において、日常生活の自立を助けるために理学療法、作業療法その他必要なりハビリテーションを行い、利用者の心身機能の維持回復を図るサービスです。

【現状の課題・施策の方向】

令和5年度は計画値を上回っています。第9期計画では、リハビリテーションサービスの提供体制を確保して、介護給付・予防給付ともに、サービス見込み量の確保を図ります。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	3	3	3	4	4	4
	実績値(人/月)	3	2	4			
	対計画比	100.0%	66.7%	133.3%			
	計画値(回/月)	20	20	20	57	60	61
	実績値(回/月)	14	18	57			
	対計画比	70.0%	90.0%	285.0%			
予防 給付	計画値(人/月)	1	1	1	1	1	1
	実績値(人/月)	0	0	0			
	対計画比	-	-	-			

(8) 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

在宅で療養し、通院が困難な方に対して、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、保健師等が居宅を訪問し、療養上の管理や指導、助言等を行うサービスです。また、ケアマネジャーに対して、ケアプランの作成に必要な情報提供も行います。

【現状の課題・施策の方向】

介護給付が令和5年度に増加しています。今後も、ニーズに応じて、適切なサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	10	11	12	17	18	18
	実績値(人/月)	10	9	25			
	対計画比	100.0%	81.8%	208.3%			
予防 給付	計画値(人/月)	2	2	2	3	3	3
	実績値(人/月)	2	2	1			
	対計画比	100.0%	100.0%	50.0%			

(9) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

特別養護老人ホーム等の施設に短期間入所して、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や機能訓練等を行うサービスです。利用者家族にとって、一時的に在宅介護が困難な時にも役立ちます。

【現状の課題・施策の方向】

計画値を下回る実績値となっています。今後も、ニーズに応じて、適切なサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	40	40	41	32	33	33
	実績値(人/月)	35	34	33			
	対計画比	87.5%	85.0%	80.5%			
	計画値(日/月)	311	320	330	237	245	245
	実績値(日/月)	237	245	218			
	対計画比	76.2%	76.6%	66.1%			
予防 給付	計画値(人/月)	4	4	4	3	3	3
	実績値(人/月)	1	2	3			
	対計画比	25.0%	50.0%	75.0%			
	計画値(日/月)	13	13	13	10	10	11
	実績値(日/月)	2	4	11			
	対計画比	15.4%	30.8%	84.6%			

(10) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

介護老人保健施設に短期間入所し、医学的な管理の下で看護や機能訓練、日常生活上の支援を受けることができるサービスです。

【現状の課題・施策の方向】

利用実績のないサービスとなっており、第9計画ではサービス量は見込んでいません。今後も、ニーズに応じて、適切なサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	1	1	1	0	0	0
	実績値(人/月)	0	0	0			
	対計画比	-	-	-			
	計画値(日/月)	2	2	2	0	0	0
	実績値(日/月)	0	0	0			
	対計画比	-	-	-			
予防 給付	計画値(人/月)	0	0	0	0	0	0
	実績値(人/月)	0	0	0			
	対計画比	-	-	-			
	計画値(日/月)	0	0	0	0	0	0
	実績値(日/月)	0	0	0			
	対計画比	-	-	-			

(11) 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

介護保険の指定を受けた介護付有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等に入居している利用者に対して入浴・排せつ・食事等の介助、その他必要な日常生活上の支援を行います。

【現状の課題・施策の方向】

介護給付、予防給付ともに計画値を上回る実績値となっています。

特別養護老人ホームの入所待機者が利用する機会が多く、今後もニーズに応じて、適切なサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	16	16	16	34	35	36
	実績値(人/月)	21	24	35			
	対計画比	131.3%	150.0%	218.8%			
予防 給付	計画値(人/月)	2	2	2	7	7	8
	実績値(人/月)	3	4	8			
	対計画比	150.0%	200.0%	400.0%			

(12) 福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

手すりや介護用ベッド等を貸与し、利用者の日常生活における自立支援や介護者の負担軽減を図るためのサービスです。在宅での介護を行っていくうえで福祉用具は重要な役割を担っています。

【現状の課題・施策の方向】

予防給付が令和5年度に増加しています。今後も、ニーズに応じて、適切なサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	116	119	120	119	123	124
	実績値(人/月)	124	117	116			
	対計画比	106.9%	98.3%	96.7%			
予防 給付	計画値(人/月)	37	38	39	48	49	50
	実績値(人/月)	36	35	47			
	対計画比	97.3%	92.1%	120.5%			

(13) 特定福祉用具購入費・特定介護予防福祉用具購入費

バスチェアや補高便座等、用途が「貸与になじまないもの」の福祉用具を購入し、利用者の日常生活における自立支援や介護者の負担軽減を図るためのサービスです。購入金額は、福祉用具の種類・品目、事業者によって異なります。

また、利用者が一旦購入金額の全額を支払い、申請後、購入費補助分の支給を受ける、いわゆる「償還払い」を原則としています。

【現状の課題・施策の方向】

計画値どおりの実績値となっています。今後も、介護給付は月に2人、予防給付は月に1人の利用を見込み、安定したサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	2	2	2	2	2	2
	実績値(人/月)	2	2	2	/		
	対計画比	100.0%	100.0%	100.0%			
予防 給付	計画値(人/月)	1	1	1	1	1	1
	実績値(人/月)	1	1	1	/		
	対計画比	100.0%	100.0%	100.0%			

(14) 住宅改修費・介護予防住宅改修費

介護が必要となっても、住み慣れた自宅で生活が続けられるように、手すりの設置や段差解消などの住宅の改修を行います。利用者だけではなく、周囲で支える家族の意見も踏まえて改修計画を立てたうえで、高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援します。利用者が一旦改修金額の全額を支払い、申請後、改修費補助分の支給を受ける、いわゆる「償還払い」を原則としています。

【現状の課題・施策の方向】

利用実績が少ないサービスですが、介護給付、予防給付ともに月1人の利用を見込み、安定したサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	2	2	2	1	1	1
	実績値(人/月)	0	0	0			
	対計画比	-	-	-			
予防 給付	計画値(人/月)	1	1	1	1	1	1
	実績値(人/月)	1	1	1			
	対計画比	100.0%	100.0%	100.0%			

2 地域密着型サービス

地域密着型サービスの利用見込みは次のとおりです。利用見込みにあたっては、実績、利用者数の増加とともに、今後のサービス提供基盤の整備予定等を勘案しました。

なお、夜間対応型訪問介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護については、本計画においてのサービス量を見込んでいませんが、今後のサービスニーズの動向、事業者の参入意向及び近隣自治体の動向と連携可能性等を継続的に把握し、次期計画策定における基盤整備を検討します。

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が一体的にまたは密接に連携しながら、定期巡回と随時の対応を行います。

1つの事業所で訪問介護と訪問看護を一体的に提供する「一体型」と、訪問介護を行う事業所が地域の訪問看護事業所と連携をしてサービスを提供する「連携型」があります。

【現状の課題・施策の方向】

町内には事業所がなく、県外事業所の利用があります。今後も、在宅での利用者を見込み、サービスを提供します。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	3	3	3	2	2	2
	実績値(人/月)	3	1	3			
	対計画比	100.0%	33.3%	100.0%			

(2) 地域密着型通所介護

日中、定員 18 人以下の小規模のデイサービスセンターに通って、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練等を日帰りで行うサービスで、利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族負担の軽減を図ります。町内には事業所がなく、町外施設の利用を見込みます。

【現状の課題・施策の方向】

計画値を上回る実績値となっています。今後も、ニーズに応じて、適切なサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	5	5	5	6	6	6
	実績値(人/月)	7	6	5			
	対計画比	140.0%	120.0%	100.0%			
	計画値(回/月)	34	34	35	38	39	39
	実績値(回/月)	56	40	72			
	対計画比	164.7%	117.6%	205.7%			

(3) 認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

認知症の方を専門にしたデイサービスです。利用者に対して、入浴、排せつ、食事の介護、生活等に関する相談、健康状態の確認、機能訓練等を行います。さらに、引きこもりがちな認知症の方に対し、他の利用者との交流の機会を提供し、社会的孤立感の低減を図るとともに、家族の介護負担軽減の役割も果たします。

【現状の課題・施策の方向】

令和5年度には利用量が減少しましたが、今後も、ニーズに応じて適切なサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	2	2	2	3	3	3
	実績値(人/月)	5	5	2			
	対計画比	250.0%	250.0%	100.0%			
	計画値(回/月)	60	60	60	36	37	37
	実績値(回/月)	59	57	18			
	対計画比	98.3%	95.0%	30.0%			
予防 給付	計画値(人/月)	1	1	1	1	1	1
	実績値(人/月)	1	1	0			
	対計画比	100.0%	100.0%	-			
	計画値(回/月)	30	30	30	2	2	2
	実績値(回/月)	4	3	0			
	対計画比	13.3%	10.0%	-			

(4) 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

同一の介護事業者により、「通所（デイサービス）」を中心に、「訪問（ホームヘルプ）」「泊り（ショートステイ）」を一体的に提供することができます。専属のケアマネジャーがこれらを組み合わせたサービス計画を立て、入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活上の介助、機能訓練を行います。

【現状の課題・施策の方向】

健康倶楽部ゆざわが提供するサービスで、定員は29名となっています。介護給付と予防給付を合計すれば、概ね計画値どおり推移しており、第9期も安定したサービス量を確保します。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	27	27	27	25	25	25
	実績値(人/月)	26	23	20			
	対計画比	96.3%	85.2%	74.1%			
予防 給付	計画値(人/月)	2	2	2	4	4	4
	実績値(人/月)	1	2	4			
	対計画比	50.0%	100.0%	200.0%			

(5) 認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

認知症の高齢者が共同で生活する住居において、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の支援、機能訓練を行います。

少人数（5人～9人）の家庭的な雰囲気の中で、症状の進行を遅らせて、できる限り自立した生活が送れるようになることを目指すサービスです。利用料とは別に、居住費や食費、おむつ代、その他の日常生活費が必要になります。

【現状の課題・施策の方向】

グループホーム雪割草が提供するサービスで、定員は18名となっています。計画値どおり推移しており、第9期も安定したサービス量を確保します。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	18	18	18	18	18	18
	実績値(人/月)	18	18	18	/		
	対計画比	100.0%	100.0%	100.0%			
予防 給付	計画値(人/月)	0	0	0	0	0	0
	実績値(人/月)	0	0	0	/		
	対計画比	-	-	-			

【必要利用定員総数】

認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護は、必要定員総数を定めることが求められており、本町では次のように見込みます。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
必要定員総数(人)	18	18	18

3 施設サービス

施設介護等サービスの利用見込みは次のとおりです。

利用見込みにあたっては、利用実績をもとに利用者数の増加等を勘案しました。

(1) 介護老人福祉施設

寝たきりや認知症等で、常に介護が必要で在宅での生活が難しい方のための施設です。入所により、入浴・排せつ・食事等の介護、機能訓練、健康管理、療養上の支援等が受けられます。介護老人福祉施設は、老人福祉法では、特別養護老人ホームと呼ばれています。常時介護が必要で在宅生活が困難な要介護3以上の方が対象となります。

【現状の課題・施策の方向】

計画値をやや下回る実績値となっています。今後も、安定したサービス提供体制の確保に努めます。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	81	81	81	78	79	80
	実績値(人/月)	71	73	77			
	対計画比	87.7%	90.1%	95.1%			

(2) 介護老人保健施設

入所者に対して看護やリハビリテーションの医療サービスを行い、家庭への復帰を目指す施設です。利用者の状態に合わせた施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、医学的管理のもとで、看護やリハビリテーションの他に、食事・入浴・排せつといった日常生活上の介護を併せて受けることができます。

入院治療をする必要はないが、リハビリテーションや看護、介護を必要とする方で要介護1以上の人が対象となります。

【現状の課題・施策の方向】

計画値を下回る実績値となっておりますが、増加傾向にあります。今後も、リハビリテーションサービスの提供体制を構築し、必要なサービス量の確保を図ります。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	12	12	12	10	11	11
	実績値(人/月)	7	8	10			
	対計画比	58.3%	66.7%	83.3%			

(3) 介護医療院

日常的な医学管理が必要な重度介護者の受け入れ、看取り・ターミナルなどの機能と生活施設としての機能を兼ね備えた施設です。利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、療養上の管理、看護、介護、機能訓練、その他必要な医療等を受けることができます。

長期に渡って療養が必要である方で要介護1以上の方が対象となります。

【現状の課題・施策の方向】

町立湯沢病院の介護療養型医療施設と医療療養病床からの転換により40床の施設が、令和5年12月に整備されました。転換に伴い第9期計画中のサービス量を見込みました。

■利用実績と見込量

		第8期			第9期		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護 給付	計画値(人/月)	-	-	23	25	25	25
	実績値(人/月)	-	-	23			
	対計画比	-	-	100%			

4 サービス見込量を確保するための方策

(1) 居宅サービス

訪問系及び通所系サービスにおいて、町の中心部とそれ以外の地域との間に、サービス供給量の格差が生じ始めています。

今後とも、利用ニーズの動向を注視し、新規事業者の参入を促進するなど、町内全域におけるサービス提供体制の確保に努めます。

また、リハビリテーションの充実や介護系サービスと医療系サービスの連携等サービスの質の確保が図られるよう、事業者・医療機関等へ支援を行うとともに、住宅改修、特定福祉用具購入については、継続したサービス提供に努めていきます。

(2) 地域密着型サービス

地域密着型サービスについては、既存のサービス提供体制により、待機者も少なくサービスの供給量が確保されており、今後も安定的に必要なサービスの量が確保されるものと判断しました。

地域密着型サービスの事業者指定は町で行うため、町が定める設置基準、運営基準、人員基準等についての情報提供や相談対応等を継続して実施します。

今後とも、利用者ニーズの動向及び町内や近隣事業者の参入意向の動向を継続的に把握し、次期計画での基盤整備に向けた検討を行います。

(3) 施設サービス

令和5年12月に介護療養型医療施設が介護医療院に転換され新たな介護基盤が整備されました。現状のサービス提供体制により、サービスの供給量が確保されており、今後も必要なサービスの量が確保されるものと判断しました。引き続き、事業者の要望等を把握しながら適正なサービス提供に努めます。

(4) 介護人材の確保・育成と業務効率化への取組みの支援

全国的に介護人材の不足が生じており、早急な人材の確保に向けた取組を検討し、実施していく必要があります。本町では、介護人材確保支援事業補助金や介護人材就職支援金の対象を拡充し、介護人材の定着を促進しています。

今後とも、町内事業者の人材確保・育成・定着を図るため、介護従事者の資格取得や専門知識・技術等のレベルアップを図る研修の実施、町内介護施設等への入職を促し、介護サービス基盤の安定化を図る支援金の支給等を行います。また、業務効率化に向けた取組等についての支援を継続的に検討します。

■介護人材確保支援事業補助金の利用

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護人材の確保	計画値(人/年)	1	1	1	3	3	3
	実績値(人/年)	0	1	3			

■介護人材就職支援金の利用

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護施設等 への入職	計画値(人/年)	1	1	1	3	3	3
	実績値(人/年)	0	2	5			

(5) 災害に対する備え

避難行動要支援者ごとに避難支援等を実施するための内容を記載した個別避難計画の作成を本町防災担当課、介護サービス事業者と進めています。

今後も、介護サービス事業者等と連携し、定期的な指導等を通して、介護サービス事業者等で策定している非常災害に関する具体的な計画等を点検するとともに、避難訓練の実施や防災啓発活動、想定されているリスクや、食料等の物資の備蓄・調達状況の確認を行い、さらには、災害の種類別に避難に要する時間や避難経路を共有します。

また、水防法に基づく「洪水や土砂災害のリスクが高い区域に位置する要配慮者利用施設」の管理者等に対する洪水や土砂災害を想定した避難確保計画の作成及び訓練実施の義務に関して、本町防災担当課と連携し、該当する介護サービス事業者等への周知・指導を行います。

(6) 感染症に対する備え

国からの指針に基づき介護サービス事業者と連携し情報共有を図るとともに、感染症発生時の介護の対応訓練を行うなど、定期的な指導等を行います。

今後これらの指導等を通じて、保険者及び介護サービス事業者等の職員が感染症に対する理解や知見を有した上で業務に当たり、感染症発生時においてもサービスを継続できるよう必要な対策を図ります。

第2節 地域支援事業の現状と今後の見込

1 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

高齢化が進展するなかで、要支援認定者等の多様な生活支援のニーズに対して、従来の介護予防給付相当のサービスに加え、住民の力を生かした訪問型サービスや通所型サービスを展開しており、年々、利用希望者は増加しています。

本町では、要支援認定者等を対象とするサービスである「訪問型サービス」、「通所型サービス」を実施しています。また、シルバー人材センター委託の身体介護以外の掃除・洗濯・調理等の日常生活を支援する「訪問型サービスB」を実施しています。

今後も、介護人材の不足が解消されない状況において、住民主体のサービス活動の推進を強化するなどサービス提供体制の整備に努めます。

訪問型サービス（訪問介護相当）・通所型サービス（通所介護相当）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
訪問型サービス 利用者数(人/月)	計画値	23	24	25	8	8	9
	実績値	4	8	7			
通所型サービス 利用者数(人/月)	計画値	40	45	50	33	33	34
	実績値	23	29	26			

訪問型サービスB

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
訪問型サービスB 利用者数(人/月)	計画値	6	7	8	11	11	12
	実績値	5	8	11			

(2) 一般介護予防事業

①介護予防把握事業

介護予防・重度化防止に向けて、介護予防対象者の早期発見の方法を開発することが求められています。

医療機関だけでなく介護予防事業参加者や従事者からの情報提供、本人・家族からの相談機会を通じて、閉じこもり等支援が必要な人を把握し、介護予防事業への新規参加につなげます。

②介護予防普及啓発事業

高齢化率の上昇に反して、介護予防事業への参加者数は減少傾向にあります。事業の支援者や受け皿の不足、参加者の高齢化といった課題があり、広く高齢者が参加することができる体制整備が不可欠です。

高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組を実施することができるよう、健康教育などを通じて介護予防に関する活動の普及・啓発を行うとともに、町広報・ホームページ等の積極的な活用により事業をさらに周知し、高齢者のニーズに合った新しい事業を開発して、新規参加者の増加を図り、認定率の低下につなげます。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
元気パワー アップ倶楽部 (回/年)	計画値	130	130	130	172	172	172
	実績値	122	157	169			
元気パワー アップ倶楽部 (人/年)	計画値	1,200	1,200	1,200	1,650	1,650	1,650
	実績値	1,552	1,533	1,300			
お風呂で元気 パワーアップ 倶楽部(回/年)	計画値	96	96	96	140	140	140
	実績値	64	138	139			
お風呂で元気 パワーアップ 倶楽部(人/年)	計画値	3	3	3	400	400	400
	実績値	103	449	386			
三国元気 アップクラブ (回/年)	計画値				48	48	48
	実績値			17			
三国元気 アップクラブ (人/年)	計画値				480	480	480
	実績値			120			
ひだまり (回/年)	計画値	44	44	44	44	44	44
	実績値	39	42	40			

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ひだまり (人/年)	計画値	300	300	300	150	150	150
	実績値	92	135	60			
訪問支援員派遣事業(実人)	計画値	3	3	3	3	3	3
	実績値	4	2	3			
訪問支援員派遣事業(延人)	計画値	40	40	40	40	40	40
	実績値	69	24	25			
温水健康体操教室(回/年)	計画値	550	550	550	473	473	473
	実績値	441	459	473			
温水健康体操教室(人/年)	計画値	4,400	4,400	4,400	3,400	3,400	3,400
	実績値	3,128	2,779	3,062			
けんこつ体操教室(回/年)	計画値	160	160	160	151	151	151
	実績値	145	154	151			
けんこつ体操教室(人/年)	計画値	2,300	2,300	2,300	1,800	1,800	1,800
	実績値	1,662	1,712	1,726			
健康カレンダーかわら版等の配布	計画値	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施			

③地域介護予防活動支援事業

地域サロンなど地域における住民主体の介護予防活動の育成支援を行います。

活動の支え手を育成しながら、お互いに支え合う意識を高め、住民自身が行えるよう湯沢町ファミリー健康プランの地域づくりの活動、社会福祉協議会の活動とタイアップして、場づくり、人づくりに努めます。

■介護予防に関するボランティア等の人材を育成する研修会・アシスタント・インストラクター研修他

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
回数(回/年)	計画値	10	10	10	3	3	3
	実績値	2	1	1			
人数(人/年)	計画値	120	120	120	60	60	60
	実績値	30	24	30			

④一般介護予防評価事業

要介護認定率や新規認定者数等の評価及び介護保険事業計画に定める推計値等の実施状況の検証を行うとともに、参加者の体力測定結果における維持改善率に基づき評価会議、事業検討会議において事業評価を行っています。

今後も、リハビリテーション専門職の関与を強化しながら、本事業を継続します。

⑤地域リハビリテーション活動支援事業

地域における介護予防の取組を機能強化するために、地域ケア会議、サービス担当者会議等へのリハビリテーション専門職等が出席するとともに、介護予防評価事業にもリハビリテーション専門職が関与を促進しています。

現在、当町にあるリハビリテーション提供体制については、訪問リハビリテーションのみですが、理学療法士等が介護予防事業のアシスタントに、介護予防事業や家庭でできるリハビリテーション手法を指導するなど、今後も、介護サービス以外でのリハビリテーション体制の充実を図ります。

2 包括的支援事業

(1) 地域包括支援センターの運営

①介護予防ケアマネジメント

本町では、地域包括支援センターと保健センター業務を統合して、専門職として保健師、ケアマネジャー、看護師、管理栄養士などが地区担当制、業務分担により住民支援ライフサイクルを横断的、一体的に運営しています。

事業対象者と介護予防支援を受けない要支援者に対し、本人の日常生活上の目標を明確にし、意欲を引き出すことで自主的に取り組むことができるよう、目標設定やモニタリング、評価等を行います。

介護予防ケアマネジメントの実施にあたっては、対象者の意向を十分反映させながら、地域の社会資源を活用した内容となるよう地域包括支援センター内の職種横断的な検討によりケアプランを作成しています。

自立支援や重度化防止の観点に即した内容となっているかのチェック機能としてサービス担当者会議への報告を行うなど、地域包括支援センター内で支援状況を共有しています。

今後も、全世代、全対象型地域包括支援機能を充実し、限られた社会資源のなかで、より予防を重視したプランを作成します。

②総合相談支援業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、年代を限定せずに幅広い相談を受けています。

今後も、相談窓口の周知を図りながら、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、地域における適切な保健、医療、福祉サービス、機関または制度につなげる等の支援を行います。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総合相談支援 件数(年)	計画値				950	970	1,000
	実績値	1,094	1,047	950			

③権利擁護業務と高齢者虐待への対応

権利擁護関連の相談や支援件数は増加傾向にあります。高齢者虐待を防ぐための相談、高齢者の人権・権利擁護を目的に制度の活用や関係機関へのつなぎなど、地域包括支援センターの保健師及び主任ケアマネ、福祉介護課、社会福祉協議会等が連携して相談対応を行っています。

今後は、権利擁護のための支援体制を充実するため、地域包括支援センターに社会福祉士を配置し、より専門性の高い相談と早期の対応を実施します。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
高齢者虐待防止ネットワーク会議・研修会開催(回/年)	計画値				1	1	1
	実績値	1	1	1			
高齢者虐待相談件数(年)	計画値				30	30	30
	実績値	31	15	35			
権利擁護相談件数(年)	計画値				25	25	25
	実績値	23	38	20			

④包括的・継続的ケアマネジメント支援

主治医、ケアマネジャーとの多職種協働と地域の関係機関との連携による、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントが重要であり、地域における様々な関係者のネットワークの構築が求められます。

地域ケア関連会議での多職種連携や個別検討会を通じた「顔が見える関係」づくりが促進され、活発な意見交換ができる連携支援の基盤が整備されました。

今後も、地域における連携・協働の体制づくりや介護支援専門員に対する支援等を行います。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
個別検討会開催(回/年)	計画値				4	4	4
	実績値	4	4	3			
ケアマネ支援件数(年)	計画値				100	110	120
	実績値	100	77	90			

(2) 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護が必要となっても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けることができるよう、地域ケア会議の開催に合わせて検討の場を設けるとともに、地域における関係機関が連携していけるよう支援します。

令和3年度末から令和4年度にかけて関係機関と共に魚沼圏域入退院連携ガイドを作成し、令和5年度からはガイドに沿った連携支援を開始しました。

今後も、地域ケア関連会議の定例開催を通じてあるべき在宅医療・介護提供体制の姿を関係機関と共有した上で、評価指標等を定め、PDCAサイクル³に沿って取組を推進します。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
在宅医療・介護 連携会開催 (回/年)	計画値				4	4	4
	実績値	3	4	5			

(3) 認知症総合支援事業

国の「認知症施策推進大綱」に沿って、地域支援事業で実施される認知症総合支援事業と一体となり、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、「認知症バリアフリー」の取組を進めていくとともに、「共生」の基盤の下、通いの場の拡大など「予防」の取組を進めていきます。

※「共生」とは、認知症の人が、尊厳と希望を持って認知症とともに生きる、また、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる、という意味です。

※「予防」とは、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

本町では、アクション農園倶楽部や認知症地域支援行方不明探索訓練など、認知症の方と地域の方が一緒に過ごす取組を継続してきたことで、地域における認知症への正しい理解が促進されています。

今後も、より多くの方が認知症を自分のこととして正しく理解し、支援することができるよう、町広報・ホームページ等での周知、啓発を図り、アクションミ

³ PDCAサイクル：Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の4つのステップを繰り返し行うことで事業の改善を図る考え方。

ーティングなど認知症になっても共生できる地域づくりを強化するとともに、認知症検診などの新たな取り組みを検討します。

①認知症カフェの推進（普及啓発）

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）内の一施策として、認知症カフェの設置が挙げられています。認知症カフェは、認知症の方やその家族、各専門家や地域住民が集う場として提供され、お互いに交流や情報交換をしたりすることを目的として、全国的に増えています。

本町では、社会福祉法人苗場福祉会が実施する「苗場カフェ」の活動を支援していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、現在は休止状態にあります。地域での拠点としての機能を果たせるよう「苗場カフェ」の再開に向けて必要な支援を行います。

②認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域、環境で暮らし続けることができるよう、認知症の方やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断、早期対応の支援体制を構築しています。

今後も、認知症サポート医と連携を取りながら、認知症での困りごとを抱える本人家族への早期医療につなげる相談や早期対応などの支援を実施します。

③認知症地域支援推進員設置事業

認知症サポーター養成講座、認知症地域支援SOSアクションミーティング、行方不明高齢者見守りネットワーク事業（見守りマップ事業）等、年々広がっている認知症関連の事業を着実に実施していくうえで、認知症地域推進支援員は行政と地域をつなぐ重要な立場にあります。保険者が事業の企画・準備から、見直し・改善を行っていく、一連のPDCAサイクルを展開しながら、より良い施策・事業を展開していくため、認知症地域支援推進員を育成し、配置します。

④アクション農園倶楽部

さらなる高齢化の進展に伴い、認知症状を有する方も増える見込まれます。認知症の方やその家族が、認知症になったことで今までの生活を諦めることなく、自分らしく生活し続ける場、介護・医療の専門職や地域の方が認知症の方を理解する場、認知症になる前からの予防の場を目指して、「アクション農園倶楽部

部」を継続して実施しています。

今後は、「アクション農園倶楽部」の自立的な活動を支援しつつ、新たな場の展開を検討していきます。

⑤認知症ケアパスの普及

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、認知症に関する相談窓口の周知が不足していることが分かりました。「認知症ケアパス」は、認知症について意識した人が最初に手に取り、行動を起こす時に活用できる情報を掲載しているお役立ちかわら版です。町内介護施設をはじめ、病院、公共施設、薬局、薬店に配置するとともに、町広報・ホームページ等で、さらなる周知を図ります。

(4) 生活支援体制整備事業

新たな生活支援サービスの創出に向けて、生活支援コーディネーター（地域支えあい推進員）の配置や、関係機関の情報共有、連携・協働の取組の場として、地域ケア会議の開催に合わせ、協議体を設置し推進しています。

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、地域ニーズの把握に努めるとともに、高齢者が地域とのつながりや生きがいを持ちながら暮らせるよう生活支援サービスの体制を整備します。

3 任意事業

(1) 介護給付適正化事業

①認定調査状況の適正化

認定調査票の全数を確認し、要介護認定が地域や個別の認定調査員についてばらつきが生じないように、認定基準に沿って実施されているか、主治医意見書が適切に記載されているか、調査票と意見書の内容に相違はないか等、適正な認定のための確認を行っています。本町の認定率は、県内の他保険者と比較すると顕著に低い水準を保っています。

今後も、要介護認定において全数点検を継続し、適正な介護認定の確保に努めます。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
件数(件/年)	計画値	420	420	420	400	400	400
	実績値	365	378	380			

②ケアプランの点検

予防プラン、初回の居宅支援事業所利用のプランに関しては、担当者会議に参加しプラン内容を確認しています。また、保険者判断を要するサービス内容についてもプランを提出してもらい確認しています。

今後も、「ケアプランチェックマニュアル」を活用し、自立支援に資する適切なケアプランとなっているか必要な点検を継続し、地域包括支援センター職員がサービス担当者会議へ参加して適切な助言を行います。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
件数(件/年)	計画値	60	60	60	70	70	70
	実績値	74	64	70			

③住宅改修等の点検

自立支援・介護者負担軽減につなげるため、事前に申請される内容と、事後に提出された内容について、訪問等により点検し、制度に適合しているか指導・助言を行います。

また、国保連合会に委託している軽度の要介護者の福祉用具貸与品目確認を継続するとともに、福祉用具購入・住宅改修申請があった事例を任意で確認する

ことで、適正な給付に努めます。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
件数(件/年)	計画値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績値	2,020	1,944	2,000			

④医療情報との突合・縦覧点検

月1回、国保連合会の介護給付適正化システムにより作成、提供されている情報を有効に活用し、医療情報との突合・点検を行い、適正な給付に努めます。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実施回数 (回/年)	計画値	12	12	12	12	12	12
	実績値	12	12	12			

(2) 家族介護支援事業

・認知症サポーター養成講座

小学生から大人まで、認知症に対する正しい理解を促進し、認知症高齢者の生活を支える地域の助け合いの輪を広げることを目指し、認知症サポーター養成講座を開催しています。

新型コロナ禍においては、事業の実施が困難でしたが、児童クラブ、アクション農園等ボランティアに対し介護事業所と協働で実施しました。

今後も、町民の主体的な参加を得ながら、講座参加後において参加者各自の自主的なアクションを促進するとともに、学校や地域、職場等で随時、講座を実施します。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
参加者数 (人/年)	計画値	130	130	130	50	50	50
	実績値	50	30	30			

(3) その他の事業

①成年後見制度利用支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方に対し、預貯金の管理や介護サービス等の契約を支援する成年後見制度について、市町村申し立てにかかる経費や成年後見人等の報酬の助成を行っています。

今後も、制度の周知を進め、利用の促進を図ります。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
参加者数 (人/年)	計画値	1	1	1	3	3	3
	実績値	4	4	2			

②配食サービス事業

概ね65歳以上の単身の高齢者、高齢者のみの世帯等に夕食用の弁当を配食します。一人暮らしの高齢者が利用者の大半を占めており、配達の際には、ボランティアによる声かけを行い、孤独感の緩和と安否確認をあわせて行います。

今後も、利用者の増加が見込まれるサービスであり、食事での栄養摂取だけでなく、安否確認を兼ねた心身の負担軽減につながるサービスであることから、保健師やケアマネジャーと情報共有をしながら本事業を継続します。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用者(人/年)	計画値	100	100	100	80	80	80
	実績値	75	65	70			

③介護タクシー利用助成事業

入退院及び通院等のため、通常の交通機関の利用が困難な在宅で寝たきりの要介護4以上の認定を受けている方が、介護タクシーを利用する場合の費用の一部を助成しております。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用者(人/年)	計画値				8	8	8
	実績値			5			

第3節 保健福祉事業

保健福祉事業とは、要介護被保険者を介護している家族への支援や被保険者が要介護状態になることを予防するために必要な取り組み等を介護保険法 115 条の 49 の規定に基づき市町村が実施できる事業です。保健福祉事業の財源は第 1 号被保険者の保険料で賄います。

1 介護用品支給事業

重介護度の方を介護している家族への経済的負担の軽減と精神的な支援を図るため、要介護 4 以上の認定を受けている方の家族介護者に、介護用品（紙おむつ、尿取りパット、使い捨て手袋、清拭剤、ドライシャンプーなど）を支給します。

利用者の担当ケアマネジャーからの申請が大半であることから、ケアマネジャーとの連携を図るとともに、多数ある介護用品のなかから必要度の高い用品への限定など事業の適正化を視野に入れつつ、本事業を継続します。

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
件数(件/年)	計画値	432	432	432
	実績値			

2 在宅寝たきり者等介護手当支給事業

寝たきりの方を介護している家族への経済的負担の軽減と精神的な支援を図るため、概ね 65 歳以上の寝たきりの要介護認定を受けている高齢者で一定の要件に該当する方と生計を同一にし、在宅で介護している世帯に対して、介護手当の支給を行います。

今後も、ケアマネジャー等と連携を強化し、対象者を把握して漏れなく支給することで、介護者の経済的負担の軽減を図るため事業を継続して実施します。

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
件数(件/年)	計画値	40	40	40
	実績値			

